

電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(21)(HP 収載)  
ーデジタル接続ラインー

1. 始めに

前方(20)に引き続き、旭化成の Pulshut を応用したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T のデジタル接続ラインへの適用を検討します。

2. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴方法

前報(19)までの種々のケーブルへの NRF-005T の適用を行ってきました。今回は、デジタル接続ラインへの適用を検討することにしました。

デジタル接続の主な使用の状況は次のとおりです。

CD 再生システム

47 研究所 4716→CCV→デジタルアキュライザーDACU-500→DAC-1  
→Brooklyn DAC+

\*CCV には GPS-777 より 44.1KHz のクロック入力

DMR-UBZ1 再生システム

DMR-UBZ1→デジタルアキュライザーDACU-500→Sonica DAC

DA-3000 /Brooklyn DAC+間 SDIF 再生システム

DA-3000→Brooklyn DAC+

\*クロックと L/R デジタルの 3 本の BNC ケーブル接続

CD 再生システムと DMR-UBZ1 再生システムは、デジタルリベラメンテのケーブルに NRF-005T を被せてもいいのですが、DACU-500 が介在していますので、DACU-500 に NRF-005T をリング状に巻いて通すだけにします。その際、DACU-500 には空気抜きのような孔がありますので、それを塞がないようにします。



リング A



NRF-005T 処理 DACU-500

DA-3000 /Brooklyn DAC+間 SDIF 再生システムでは、L/R の 2 本の BNC デジタルリベラメンテケーブルで接続していますが、ウールで覆われていますので、この BNC デジタルケーブルに NRF-005T をリング状に巻いてケーブルを通すだけにします。



**NRF-005T 処理 BNC デジタルケーブル**  
音質の評価は、下記の再生で行います。

4716 からは CD の再生を行います。

DMR-UBZ1 再生システムでは、BPODCH の再生を行います。

DA-3000 /Brooklyn DAC+間 SDIF 再生システムでは、PC による STAGE+の配信の再生を行います。

### 3. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴結果

最初に上記の NRF-005T の処理なしの状態聴いておき、上記の NRF-005T の処理の効果を確認します。

4716 からの CD 再生では、下記を試聴しました。

#### **Hyperion CDA67993**

ウジェーヌ・イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ  
アリーナ・イブラギモア (ヴァイオリン)

#### **Archiv POCA-1132**

モーツァルト・ハイドン・グルック オペラアリア集

アンネ・ゾフィー・フォン・オッター (メゾソプラノ)

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンソート

NRF-005T の処理を行いますと、イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタでは、顕著な効果とは言えませんが、イブラギモアのダイナミックなボウイングの様子が現れてきます。オッターのオペラアリア集では、こちらの方の効果が分かりやすく、オッターの歌唱が引き締まり、バックのイングリッシュコンソートの音も明晰さが向上します。

47 研究所 4716 もインフラノイズ社の DAC-1 もひと昔前のトランスポートと DAC ですが、現在でも十分通用するレベルに達しています。

DMR-UBZ1 再生システムでは、下記の BPODCH の再生を行います。

フランツ・リスト ピアノ協奏曲 1 番

エフゲニー・キーシン (ピアノ)

マリス・ヤンソンス指揮ベルリンフィル

この再生経路では、すでにスイッチングハブ、DMR-UBZ1、Sonica DAC に仮想アースを接続し、LAN ケーブルには NRF-005T の処理を施し、デジタルケーブルはアモルメットコアを通してありますので、DACU-500 への NRF-005T の処理の上乗せ効果は期待していませんでしたが、DACU への処理を行いますと、オーケストラの音の分離が向上し、キーシンのピアノの切れ味が向上しています。他の収録についてもいくつか試聴してみましたが、やはり変化がありましたので、このままロングランでテストしていきます。

DA-3000 /Brooklyn DAC+間 SDIF 再生システムでは、PC 経由の STAGE+の再生で、マウリチオ・ポリーニのベートヴェンの後期のピアノソナタのライブ収録とリサ・パテシアシュベリとその仲間によるシューベルトのピアノ 5 重奏「鱒」を試聴しました。

この経路では、すでに Brooklyn DAC+と DA-3000 とその前ステージに仮想アースを接続し、DA-3000 から Brooklyn DAC+のクロック供給ケーブルにも NRF-005T の処理を行っているので、それほどの NRF-005T の処理の上乗せ効果は期待していませんでした。

NRF-005T の処理を行いますと、ベートヴェンの後期のピアノソナタでは、ポリーニの弾く Fabbrini の迫力が、それほど顕著でないものの冴えてきます。

「鱒」では、こちらの方の効果が分かりやすく、パテシアシュベリのヴァイオリンに艶が乗ってきますし、チェロとコントラバスの低音が明瞭になってきます。

#### 4. まとめ

上記 3 ケ所のデジタル接続ラインへの NRF-005T の処理の効果を認めました。

以上